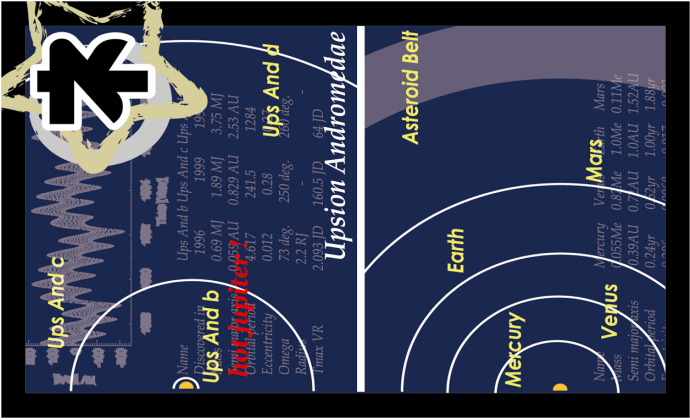
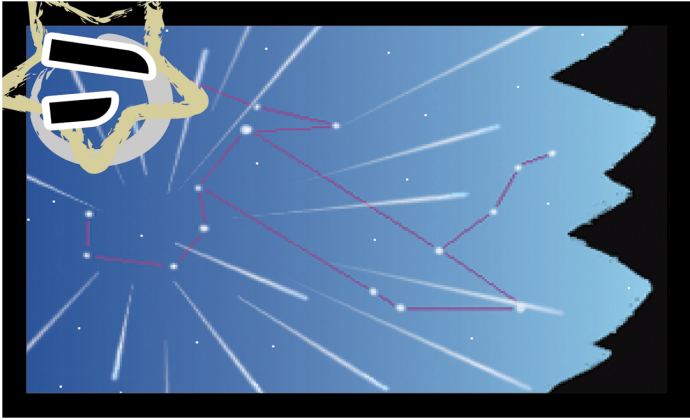
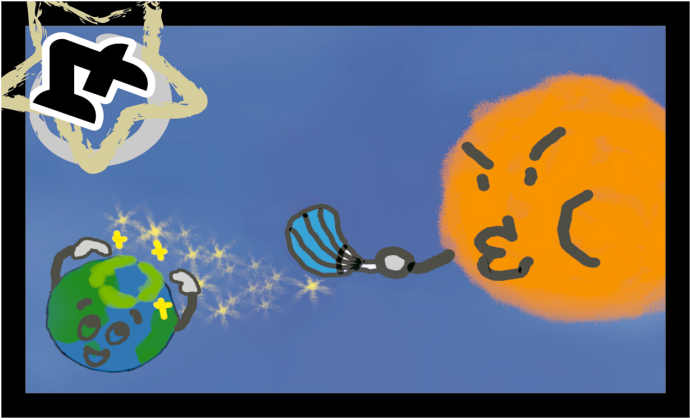
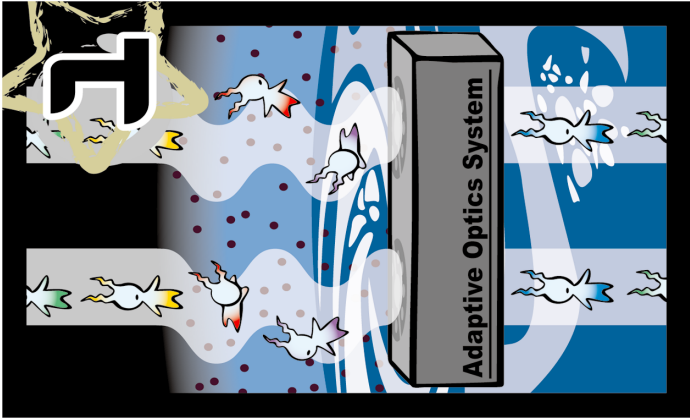
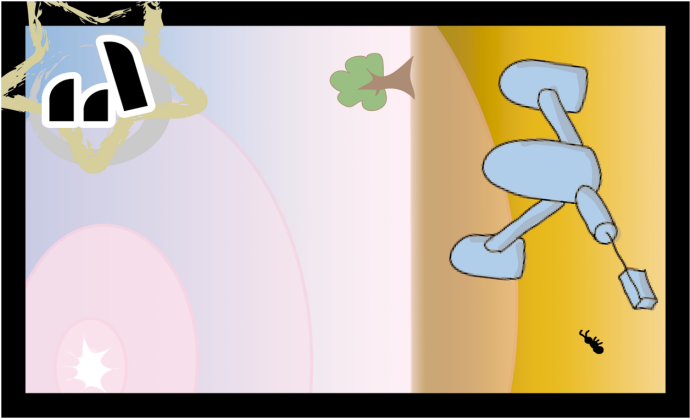
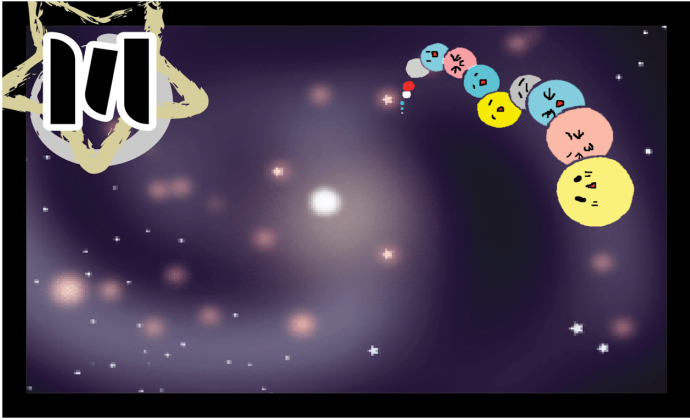
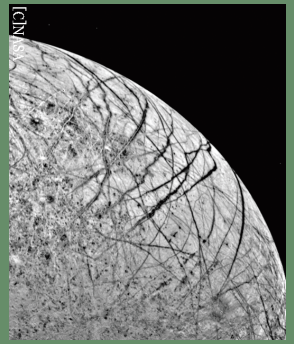


○推奨用紙○
 エーワン：マルチカード インクジェット専用タイプ
 A4判 8面 名刺サイズ



○推奨用紙○

エーワン：マルチカード インクジェット専用タイプ
A4判 8面 名刺サイズ

[CN]

エウロパ [Europa]

木星の衛星・エウロパには、氷の大地の下に広大な海が潜んでいると考えられています。木星の強大な潮が力によってエウロパの氷表面に亀裂が走り、そこを流す地下の水が噴出している、と解明できる観測結果が、木星探査機によって得られました。凍てつく氷の下に、ひょっとしたら生命が存在しているかもしれません。

www.tenpla.net



[CHUBBLEST/03]

密度波 [density wave]

渦巻銀河の特徴である美しい腕は、密度波と呼ばれる波によって作られます。密度波が到達した場所では星間物質が圧縮され、星が数多く生まれるために腕と見えます。銀河の中の星を車に例えると、銀河の腕では渋滞が発生していると考えてよいのです。個々の星は時間がたてば腕から離れて行きますが、腕の部分には新たに生まれる星が加わって、星の渋滞は続いていきます。

www.tenpla.net

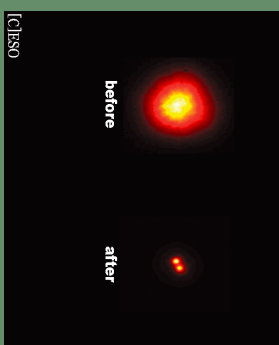


[Chenpla.net]

TAMA300 [TAMA300]

重さをもつ物体は、その周りの空間を歪めます。その歪みが波として伝わるのが重力波です。アインシュタインが一般相対性理論の中で予言しました。TAMA300はこの重力波を直接検出するための装置です。レーザーを使った光干渉計を用いて、重力波が到達した時に生じる空間の歪みを測定します。レーザーを飛ばす距離が長いほど川さな歪みを検出でき、TAMA300の場合、レーザーが走る地下トンネルは長さ300mです。

www.tenpla.net



[JBSO]

補償光学 [adaptive optics]

地球上で天体を観測する時に邪魔になるのが、大気の揺らぎです。これがあるために、大きな望遠鏡を作っても星の像はゆらゆら揺れてしまします。この揺らぎを打ち消すのが補償光学という技術です。目標の天体と一緒に近くの星を観測し、どれくらい星の像が揺れているかを瞬時に計算して、それを打ち消すように処理が行われます。こうすることで、天体の細かな構造まで調べることが可能になるのです。

www.tenpla.net



[SOHO (ESA & NASA)]

太陽風 [solar wind]

太陽からは太陽風と呼ばれる風が吹いています。その正体は電気を帯びた粒子（プラズマ）の流れです。太陽上層大気のコロナでは100万度という高温のために水素原子が陽子と電子に分解され、それが太陽風の主成分となって流れ出します。地球のあたりまでやってくると太陽風は地球磁場によって遮られますが、一部は磁力線に沿って極圏を突入り、極地上空の大気にごつかることで彩り豊かなオーロラの光を演出します。

www.tenpla.net

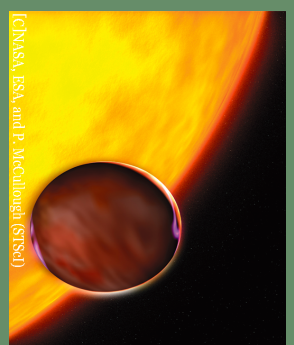


[KIRISHIMA SCIENCE CENTER]

流星 [meteor]

流星は地球大気に飛び込んできた小さな塵が燃くものですが、その塵は彗星が激ざ散らしたものです。夏のペルセウス座流星群、秋のしし座流星群などの流星群はそれぞれ別の彗星を源に持ち、その彗星の軌道に沿って塵が分布しています。毎年一回その塵の軌道を地球が横切ることによって、太陽系の果てからやってきた彗星の一部が地球に飛び込み、すばらしい流星として見られるのです。

www.tenpla.net



[NASA, ESA, and P. Michelson (STScI)]

ホットジュピター [hot jupiter]

太陽系外惑星（太陽以外の恒星を公転している惑星）のうち、中心の恒星からの距離が地球-太陽間の距離の10分の1以下（太陽系で言えば、水星よりさらに内側）を公転周期数日という高速で公転している、質量が木星クラスの巨大ガス惑星をホットジュピターと呼んでいます。恒星に極めて近いため、恒星からの強烈な放射を受けて表面温度は一千度を超えと言われています。まさに「熱い木星」なのです。

www.tenpla.net